



名前

イネ
づくり

観察・調査⑩
春～秋

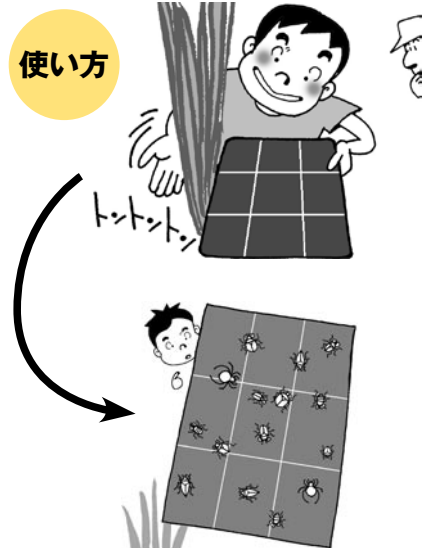
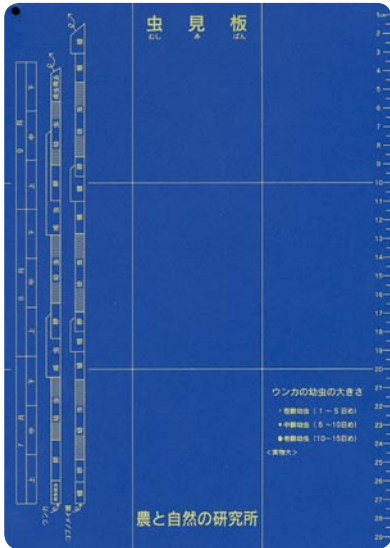
むし み ぼん 虫見板を使ってみよう！

「虫見板」って聞いたことがあるかな。文字どおり虫を見るための板（下じき）なんだけど、おもしろいのは、イネにくっついてる小さな虫が見られるってことなんだ。

◆使い方

片手に虫見板を持って、もう一方の手のひらでイネをポンポンポンとすばやくたたく。板の上に虫が落ちてくるよ。どんな虫がいるかな。

1株目を見たら少しはなれた株を見てみよう。同じ虫がいるかな。めずらしい虫の姿も見られるかもしれないね。虫見板の上に30匹以上の虫がいたら多いほう、10匹以下なら少ないほう、と数えるんだ。さっそく試してみよう。虫めがねがあるととっても楽しいよ。



ココがポイント

虫見板は子どもでも使える農具のうぐ

虫見板は1978年に考え出された新しい「農具」だ。虫見板で田んぼの害虫や益虫を調べることで、農薬の散布回数が4分の1に減ったところもあるんだよ。同時に、田んぼの生態系せいたいけいをよりよく知る手がかりにもなるんだ。

●虫見板が買えるところ

NPO 法人 農と自然の研究所
電話 092-326-5595 (FAX 兼用)
農文協農業書センター
電話 03-3245-7647 FAX 03-3270-2800

メモ

描いてみよう

虫見板で観察した虫えがを描いてみよう。

観察日 月 日 天気